

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立森田養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input checked="" type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	ダンストレーニングをしよう		
	単元(題材)の目標	リモート中継された映像を見ながら、ダンストレーニングに取り組むことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1～3 年 15 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・ 中学部普通学級生徒 15 名 ・ 普通学級生徒はリモート学習を繰り返し経験しており、オンライン上での会話に慣れている。重複学級生徒は本単元が初めてのリモート学習となる。 ・ 機器操作等ができない生徒がほとんどである。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 タブレット端末（iPad）、電子黒板		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Z o o m		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> 時間支援 ) <input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	コロナ禍により集団学習に制限がかけられる中で、リモート中継でつながることにより通常と同じような雰囲気での学習に取り組むことができるのではないかと。また、画面を通じて行うという新たな試みによって、生徒達の学習に向かう意欲が向上するのではないかと。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・ 時間内、各教室をリモート中継し続けた。 ・ 教室間での音の遅延や反響があるので、各教室のドアを半分閉じるなどの工夫を行った。 ・ 通信環境を考慮して、T 1 以外のカメラは基本的にミュートするようにした。			